

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成27年度第2回武蔵村山市介護保険運営協議会
開 催 日 時	平成27年10月22日（木） 18時 ～19時30分
開 催 場 所	市民総合センター3階 中会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：倉持委員、河西委員、小関委員、岡崎委員、安部委員、奥下委員、佐藤委員、高橋委員、田中委員、大橋委員、 高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、管理G主査、相談・支援G主査、並木主任 欠席者：加園委員 傍聴者：なし
議 題	報告事項1 平成27年度第1回介護保険運営協議会会議結果について 報告事項2 平成26年度介護保険特別会計の決算状況及び第5期介護保険事業計画の進捗状況について 協議事項1 地域包括支援センターの評価の方法について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	次回の包括支援センターの評価で、南部包括支援センター長の佐藤委員が同席することになった。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	開会 報告事項1 平成27年度第1回介護保険運営協議会会議結果について 事務局：概要を説明 委 員：質問なし 報告事項2 平成26年度介護保険特別会計の決算状況及び第5期介護保険事業計画の進捗状況について 事務局：説明 委 員：見やすい資料がほしい。計画値と実績値が違うが結果が良かったのか、悪かったのかを知りたい。 事務局：介護保険料が予測より多かったため、給付費が計画値より伸びなかったため乖離が生じた。結果として計画の見込みが甘かったということになる。 委 員：人口の伸び率はどのように予測しているのか。 事務局：第5期事業計画では、大目に予測している可能性がある。 委 員：第六期では、どのように予測しているのか。 事務局：市の上位計画である長期総合計画によっている。 委 員：要介護認定者数も同じように予測しているのか 事務局：人口を基に推計している。 委 員：給付費についても平成26年度は実績値が低い、人口を基にしているのか。 事務局：元気な高齢者が多いのか、必要なサービスを受けられない人がいるのかを考えられる。 また、地域密着などは、施行できていないが、それも影響してい

	<p>ると思われる。</p> <p>委員：第六期では、施行できていない部分等の見直しが反映されているのか。</p> <p>事務局：分析をした上で推計している。</p> <p>委員：保険料の収入が計画値より多かったのは、よかったのか。</p> <p>事務局：必ずしも増えることが良いとは限らない。うまくサービスに繋がっていないとも考えられる。</p> <p>委員：本市の場合、地域密着型の待機者がいない。ユニット等は利用料が高いため、市内利用者が原則だが、市外の利用者を入所させている。また、GHも待機者がいない。価格が高いため(約月15万円)。</p> <p>委員：利用者がいないのは現状として仕方がないことだと思う。</p> <p>委員：更にギリギリの利用者は、支払いが大変である。</p> <p>委員：特養など待機者が多いが入所できない状況があるのは厳しいのではないか。</p> <p>事務局：地域包括ケアシステムで在宅に重きを置く施策をする方法しかないと思われる。今のうちから施策を立てておかないと、10年後は大変であると予測される。</p> <p>委員：地域密着型サービス以外は、特養の入所待ちは他地域と変わらないので、地域密着と特養を分けて考えた方がよい。</p> <p>委員：実際に特養は足りているのか。</p> <p>委員：待機者が多いと考えれば待機者が多いが、在宅を中心としていくのならば、充足しているとも取れる。施設を増やすということは、保険料も上がるので、それで良いのかをこの運協で図る必要がある。</p> <p>委員：地域支援事業の未回答が減ったのはなぜか。</p> <p>事務局：勧奨を行ったことにより、回答率が上がった。</p> <p>委員：予防事業の参加率等は目標値に達しているのか。</p> <p>事務局：ロコモ検診以外は定員に近い参加率であり目標値に近いと考えられる。</p> <p>委員：介護予防が進んでいるという評価なのか</p> <p>事務局：まだ、そこまでの分析が出来ていない。</p> <p>委員：認知症サポーター養成講座に小学校とあるのは。</p> <p>事務局：児童に対し講座を行った。</p> <p>委員：訪問型介護予防事業の実績がない理由は</p> <p>事務局：人員不足のためである。</p> <p>委員：認知症で外との接触がない人がかなりいると思われるので、認知症対応のアプローチを結成し対応してはどうか</p> <p>事務局：厚生労働省により第6期中に認知症初期集中チームを作り平成30年度までに対応するようになっている。</p> <p>委員：訪問看護ステーションに委託する等考えているのか。</p> <p>事務局：現状では考えていない。</p> <p>委員：実現するためにマンパワーの活用を考えてほしい。</p> <p>委員：介護予防教室で南部地域包括支援センターの回数、参加者数が多いが、なぜか。</p> <p>事務局：南部地域包括支援センターは以前から予防事業に特化している。</p> <p>委員：緑が丘包括の地域には見守り相談室があり、予防事業を行っているので、緑が丘包括はその家族のフォローなどを行っている。場所によって特色がある。</p>
--	---

協議事項1 地域包括支援センターの評価の方法について

事務局：説明

事務局：運協の委員の中に包括支援センターの職員がいるので、配慮が必要である。

委員：現場が苦勞されているので、そういった話を聞く機会が必要ではないか。

委員：センター長部会等を通して意見を取りまとめることができる。

委員：評価はどのように行うのか。

事務局：公平中立性が保たれているかどうかを目的としており、優劣をつけるものではない。予防のケアプランを作成した場合に、どの事業所に多くつなげているか等の調査をかける場合もある。

委員：例えば一定の事業所につなげている等を見つけるのは、こういった帳票を見るのか。

事務局：活動の状況のうち、依頼先の事業所を報告する項目があるので、その割合を提出する予定である。

委員：利用者の声はひろえるのか

事務局：この中にどのような意見が出たかは拾い出せる。

委員：相談内容の分類をしてもらおうと把握しやすい。

事務局：地域ケア会議で市民から出た意見を集約することができる。

委員：地域包括ケアシステムはいつまでに作成するのか

事務局：平成37年を目途にしており、第6期で重点的に行う予定。

委員：包括支援センターごとの認定者数や認知症疾患数等の集計は出るのか。

事務局：出ると思う。ある程度は、ニーズ調査の結果で分類することができる。

委員：各包括から要支援から要介護になった人数、要支援から自立になった人数を出してもらえるとデータの的に活用できるのでは。

事務局：全体では出せるが、地域ごとに出せるかどうかわからない。

委員：包括毎に集計しているので調べることはできる。要支援者を地域で支えていくので、必要な情報を提供することはできる。

事務局：包括支援センターの評価の方法について、本市ではしたがないが、地域支援として、介護事業者、企業、医療機関、行政等と密接に連携が図れているかを評価するかという報告書がある。

委員：他の包括との違いを評価するのではなく、各包括で人口が違う等の状況があるため、その中でどのくらい実践できているかを評価するもの。

委員：包括支援センターの役割は、市民の方によりよく生活してもらうことを目的としており、いろいろな意見を反映したいと思っている。

委員：地域のニーズは多いのか。

委員：現在、小地域ケア会議を開催しており、さまざまな方から意見を聞く機会を持っている。

委員：地域ケア会議とは、どのように開かれているのか。

委員：各包括で開催している。市で全体で行っているものも有る。

委員：会議で意見を集計できるのか。次の事業計画にも必要な情報だと思う。

委員：地域でどのような要望があり、地域で認知症の方がどのくらいい

	<p>るのか、施設は足りているのかどうか、従業員は確保できるのかどうか等の分かりやすい資料が必要である。</p> <p>次回のケア会議で必要な意見を集約し、事務局に提出する形かどうか。</p> <p>評価としては、地域包括支援センターの職員である委員には評価に同席してもらい、意見をケア会議の時に伝えてもらう方法が良いと思う。</p> <p>委員：同席に賛成する</p> <p>委員長：続きまして。報告事項「その他」になりますが、なにか意見はあるか。</p> <p>事務局：第六事業計画について説明</p> <p>委員長：質問はあるか</p> <p>事務局から何かあるか</p> <p>事務局：次回の開催日 平成 28 年 1 月 21 日(木)午後 6 時～</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： <u>0</u> 人</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>()</p>
-------------	--

会議録の開示・非開示の別	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)</p>
--------------	--

庶務担当課	健康福祉部高齢福祉課 (内線：632)
-------	---------------------

(日本工業規格A列4番)